

## 完成豊かな子どもに育てほしい ～生き物や植物はみんなお友達～

昆虫や水生生物、植物に興味をもって観察し、疑問をもっていろいろ考えること、また、世話をすることによって感性豊かな子どもになってほしいと思っています。その近道として、「生き物の飼育や植物の栽培」があります。命あるものを「世話する、育てる」ことによって得られる心情が、知らずと心を豊かにしたり、思いやりを培うことに繋がると思います。自分の経験によると、動物の世話を心を込めておこなっている人、植物を一生懸命育てている人に心優しい人が多かったように思います。とりわけ、物を言わない、意思表示をしない、動かない「植物」と心の会話をを行い、育てあげる力はいろいろな活動にうるおいをもたらすと思っています。

前年度までのビオトープを中心に据えた自然との関りや体験を通しての子どもたちの育ちについていろいろ知らされていて、園児たちの生き物や植物のためにという思いをはじめ「愛着から深い学び」への活動をされてきたことに感銘を受けております。田舎の農家育ちでネイチャー志向の自分としては、園児たちの活躍を大いに期待しております。

右の写真を拡大して子どもたちに見せようと思っています。長身の私と比べて考えると、4m以上ありそうです。自宅の庭で心を込めて育てたらこんなに大きくなったという写真です。実は窒素成分の多い肥料を与え、水分をタイミング良く十分に与えた結果なのですが…。(ちなみに、生花用の中輪の菊を栽培する農家の長男として育ちました。)

今後、いろいろな花や野菜などを栽培していきますが、物言わぬ植物をしっかり観察(水切れしていないか、虫がついていないか、病気になっていないか等)し、どうすればよいかを考え世話することは、きっと今後の学習に生きてくると思います。

再開すれば、早急に右の写真のような葉っぱの周りに小さな子どもの芽がいっぱい付く「コダカラソウ」を一人に一ポットずつプレゼントする予定です。順調に育てば「可愛い子どもの芽」が付きます。「本当?の子ども」を視覚的に確認することができ、育ったなあという成就感を感じることができます。例えば、熱帯魚のグッピーを育てていて、卵を産むのではなく、親魚のお尻から、小さい魚の形で生まれ、その瞬間から泳ぐといった感動にも似ていると思います。(こんな風に感じるのは、私だけでしょうか。(笑))

実はこのコダカラソウは、錦郡小学校勤務の時に、幼稚園からもらって帰った2cmぐらいの2本の苗から増やしたものです。次に勤務した東条小学校でも全児童に苗をプレゼントしておりました。)また園児たちにプレゼントできることを嬉しく感じています。植物を心を込めて世話して、「花が咲く、実がなる、種ができる・・・」といった成果には、「何ものにもかえがたい喜び」があると思います。コダカラソウの世話をしながら、感性の豊かな子どもに育ててほしいと願っています。



## 市教育委員会発信の動画に日置先生が出演 ～リズムカルな動きで運動を紹介、手話も～

市内の幼稚園の先生とトッピーで作成された「タオルを使った体そう」に日置先生が出演し、笑顔でダンスを披露しています。リズムカルな運動で構成されており、園児たちに取り組んでもらいやすい内容です。パソコンやスマホで「ユーチューブ」を開いていただき、「富田林市教育委員会」で検索していただくと閲覧できます。ぜひ、ご家族の体調管理の一助としてください。この記事作成中に、先生たちによる新たな番組、「手のひらを太陽に」の曲に合わせて手話を学習できる動画完成の連絡がありました。日置先生大活躍ですっ！

